

ワークショップでの意見

項目	小項目	課題	解決策	今後の対応及び議会回答
結 婚	—	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもがいない。少ない。 ・結婚しない男女の増加 ・子育て以前、婚活支援がない ・未婚男女も多く、人口減少も加速。行政としての少子化対策をしていない ・母子家庭が増えている 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政で婚活窓口の開設 ・婚活支援センターの設置 ・高齢者が世話役になる ・お見合い番組を呼ぶ、お見合いパーティーを開く ・婚活列車をしなの鉄道で企画する ・結婚祝い金の支給 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政では、働く婦人の家の自主事業として婚活に役立つセミナーを実施しているようですので、議会としても多くの皆さんに利用していただくようPRを行います。 ・婚活の場づくりについて、行政は団体の取り組みを側面から支援するとしていますが、行政が積極的に関わるよう要請を行っていきます。 ・お見合い列車は、しなの鉄道に行政からお伝えし、年に一度、六文列車の運行の中で企画したいと前向きなお返事をいただいております。
出 産	—	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して子どもを産める病院 ・育児休暇が取れない ・子どもを産む人数が二人に満たない ・第2子・第3子への軽減を厚く ・少子化に対して市の補助金助成をしてほしい ・少子化対策として第1子・2子・3子への出産祝い金 ・妊娠出産の費用の無料化を 	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生病院での対応を ・職員が率先して育児休暇を取る ・多子世帯への保育量減免 ・妊娠出産費用の無料化 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政には、出産環境に対する不安の声は届いていないと言う事だが、出産後のケア体制、出産育児一時金(42万円)以上の負担金の実態、里帰り出産の実態等、よりきめ細やかな実情を調査把握し、安心して子どもを産み育てられる環境を整えるよう提言してまいります。 ・第2子以降の子育てに対する経済的支援の内容を研究してまいります。 ・出産祝い金が多子出産に繋がっているか追跡調査するとともに、出産祝い金により出産意欲が高まるかどうか等も考え、今後検討してまいります。ちなみに県下19市で実施しているのは2市となっています。 ・出産費用は病院・食事・付帯サービス等により大きな差があるが、出産するのに必要な費用がすこしでも補えるよう提言してまいります。
子育て支援制度 (幼児期)	休日・夜間保育	<ul style="list-style-type: none"> ・日・祝日・夜間の保育がない ・土曜保育の申し込み期限が早すぎる ・保育時間の延長 	<ul style="list-style-type: none"> ・休日保育の実施 ・予算を付けていつでも対応してもらえるように ・長時間保育の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・休日・夜間保育の実施にあたっては、保育士の確保と予算が必要になりますので、実際にどのくらいの方が利用するのか把握するよう要請します。
	病児・病後児保育	<ul style="list-style-type: none"> ・病児・病後児保育の整備をしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・病児・病後児保育の実施 ・病院との連携 ・公的施設を開放し当番制で管理する 	<ul style="list-style-type: none"> ・病児・病後児保育については佐久市に委託して実施していますが、周知がされていないため、PRを行うよう要請しました。 ・小諸厚生総合病院での実施について、今後、病院と協議していくとのことなので、議会としても実現するよう要請
	育児休暇中の退園	<ul style="list-style-type: none"> ・下の子が産まれるときに上の子が未満児でも退園しなくても良いようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同時通園の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・育児休暇取得時の未満児の退園については、平成28年度より継続できるように変更になります。
	育児相談	<ul style="list-style-type: none"> ・育児の相談 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口の設置 ・子育て支援窓口の一本化 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに関する相談は、「子ども相談係」が窓口となり、必要に応じて関係課や関係機関と連携して相談にあたっているとのこと。
	ファミリーサポート	<ul style="list-style-type: none"> ・土日、夜勤等、両親の共働き家庭の児童のファミリーサポート ・共稼ぎのため日中子どもの面倒がみられない ・働きたいが子どもを預かってくれる施設が少ない。 ・託児所の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーサポートの構築 ・シルバーの方に見てもらう ・市民ニーズをしっかりと把握し対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーサポート事業は、「小諸市子ども・子育て支援事業計画」でも計画しているため、実施に向けて努力していくとしています。議会でも注視していきます。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・急な時(葬式・病気)の一時保育所がない ・保育士の不足 ・行事・イベントは休日に予定しない ・各地域に子育て支援センターがほしい ・東児童館の幼児利用日を増やす ・児童館を誰でもが利用できるようにしてほしい ・千曲保育園の駐車場が無い ・保育園の人数バランスを 	<ul style="list-style-type: none"> ・一時保育所の整備 ・非正規保育士の給与を上げる ・保育士を増やす ・保育園の活用 ・園舎を広くする又は保育園を増やす ・校庭活用などで駐車場整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士の待遇改善等の働きかけを行ってまいります。 ・現在ある施設を有効活用できるよう検討を行います。
子育て支援制度 (小中学生期)	通学区	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校、中学校が遠い ・小学校の統合を早く実行する。(美南ガ丘小学校は児童が多過ぎる) ・2つの中学の生徒数の格差を解消 	<ul style="list-style-type: none"> ・学区の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会で、小中学校の統合、通学距離、児童数減少、自校給食等については、平成28年度を目途に進めている「学校改善計画」を策定する中で検討していますので、議会としても計画の策定に注視していきます。
	学習	<ul style="list-style-type: none"> ・学習などの指導の徹底 ・教育システムの充実・特色ある教育を 	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数での教育の良さをアピール ・一流の先生を呼ぶ ・音楽都市を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の魅力アップ、教職員の魅力アップのため「梅花教育再構築事業」を行い、教職員等の自主的・主体的な研修を行っています。
	いじめ対策	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ対策の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民と行政での問題意識の共有を図るため話し合いの場を作る 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ、不登校等については、学校・支援員・教育支援センター・指導主事等とともに協力し対応しています。
	体力測定	<ul style="list-style-type: none"> ・5・6年生の体力測定、中学生も行う 		<ul style="list-style-type: none"> ・体力測定は、中学2年生で実施しているそうです。
	学校開放	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後の学校開放(大人と学習) 		<ul style="list-style-type: none"> ・放課後の学校開放については、現在の施設では安全管理上難しい状況です。 ・新しくできた市民交流センター、児童館等の利用とともに、教員免許のある市民の皆さんの協力についてもお願いしたい。
	駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・芦原中に駐車場が少ない 		<ul style="list-style-type: none"> ・通学等の駐車場については、本来は徒歩通学が基本です。通学距離が小学校は4km、中学校が6km以上ある児童生徒は公共交通機関での通学を認め補助を行っています。保護者の不審者、交通状況、通学路等の心配も承知していますが、学校・保護者も含めどうあるべきかを今一度確認したいと考えています。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・学校単位での児童館設置 ・外国児童の日本語支援を強化して欲しい ・不登校・引きこもり生徒の社会参加へ導く支援プログラムの充実 ・子ども会の設置(リーダー育成) ・学校の行事が多すぎて職場に迷惑がかかりすぎている ・教師が多忙すぎるので対策を 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口設置 ・ボランティア活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の設定等については、市全体の中での検討が必要になりますので、今後、理事者と協議してまいります。 ・すぐに実現可能な項目については、理事者へ提言をしてまいります。 	

項目	小項目	課題	解決策	今後の対応及び議会回答
通学路の安全 ・利便性	通学路	<ul style="list-style-type: none"> 安全のための道路拡幅等の通学路整備が進んでいない。 時間帯の一方通行を考えて欲しい。 通学路上の危険な樹木がある 西浦から大久保の新道を通学路に指定してほしい 通学路の街灯・防犯灯が少ない。カーブミラーが見つづらい 	<ul style="list-style-type: none"> 通学路の実態調査・危険ヶ所をチェックし、対策をする。 通学路の識別グリーンベルトの完全化を図る 子どもの見守り隊の充実で高齢者を活用 PTA、公民館、敬老会等地域ぐるみで協力 区毎の登下校 樹木整備を春夏に行う 現場確認し優先順位をつけて早急な対応を 	<ul style="list-style-type: none"> 通学路の整備については、行政が毎年、各学校区単位で学校、保護者、関係機関等と一緒に合同点検を行い、危険箇所の認識の共有を図っています。その後、警察等からの指導を踏まえ、要望箇所の対応について、市から学校に報告を行っているのが現状です。議会としても安全な通学路整備に更に尽力できるよう、きめ細やかな対応をまいります。 県道の危険箇所等の整備は、危険箇所を早期に解消するよう市が県に陳情する場を設けています。
	スクールバス等	<ul style="list-style-type: none"> 愛のりくん、朝夕の通学の本数が少ない 部活動、大会時の送迎バスが欲しい。 スクールバスの整備と充実 中学生スクールバスの充実 特に川辺方面へ。水曜日、テストの日、部活後希望。 通学路が危険なのでスクールバスが欲しい。 土・日のバスが無く大変不便 高校生のバス代の値下げ 南城プールに行ける無料バスの運行 	<ul style="list-style-type: none"> 朝夕の本数を増やす。通学にも利用できる 朝夕の通学便(スクールバス)の整備 送迎時間に合わせたデマンドバスの運行 すみれ号などの路線バスをスクールバスとして使う。 保護者が利用料を少し負担してでも具体的な取り組みをしてほしい。 小学校区などの関係者で話し合い対応策を講じる。 すみれ号復活・シルバー送迎隊組織化 愛のりくんをスクールバスにする 土・日運行と平日の増便 	<ul style="list-style-type: none"> 利便性向上のためにできることから進めていきます。行政は、土・日の運行は、現状で土曜日のバス利用者が少ないため、利用者が多く居ることが確認できれば検討します。 高校生のバス代値下げは、収入と支出のバランスを考えながら検討していきます。
遊び場	公園等	<ul style="list-style-type: none"> 安心して遊ばせる地域環境がない 区内程度の近いところにボール遊びができる場所が欲しい 地区に公園が欲しい。 幅広い年齢で遊べる公園が欲しい 公園の遊具が古くて少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の遊び場をつくるガイドライン作成 行政へ依頼。 子どもたちが安心して遊べる広場を地域・地区ごとに整備(設備・人) 市立、区立遊び場の設置充実。 校庭の開放 大きな公園整備 祭り・農作業等地域の大人との交流 遊具・施設の整備と保全点検への支援 	<ul style="list-style-type: none"> 外で遊んでいる子ども達を見るのが珍しい状況であるのは確かですが、昭和50年代から市の政策で公園を郊外に整備してきました。小諸市民一人当たりの都市公園面積が16平方メートルあり、国の基準である10平方メートルを上回っているため、公園整備は充足しているとしています。 議会としては、市民の皆様が、地域住民の交流や子育ての場としてお近くにある公園や公民館等を積極的に活用できるよう方策等を研究してまいります。 公園遊具については、危険の無いよう毎月点検しています。
	こもロッジ	<ul style="list-style-type: none"> こもロッジが休日休みである こもロッジの利用が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> こもロッジの日曜・祭日開所 こもロッジのような場所を増やす 	<ul style="list-style-type: none"> こもロッジの日曜・祭日開所については開館のニーズがあることは承知していますが、保育園と同様に保育士等の確保が厳しい状況とのことです。議会としては、保育士の確保に向けて、臨時保育士の待遇改善等について要請していきます。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 南城プールの整備を早くして欲しい。 スケートボードの練習場を作してほしい 		<ul style="list-style-type: none"> 南城プールについては、老朽化に伴い不都合をおかけしていますが、修繕にはかなりの経費がかかると見込まれているため、市全体の中での検討が必要になります。今後、理事者と協議していきます。
地域活動・環境	—	<ul style="list-style-type: none"> 育成会の人たちがほとんど仕事をしている人たちなので活動していない 子育て・教育を地域ぐるみでできるよう横の連携が重要 世代間交流の場を増やして欲しい 周囲の人たちの関心が低い 地域の中に学びの場を。人の交流を通して人材づくり 地域で相談できる仲間がいない ママの相談相手がない 高齢者と、子育て世代・子どもとの交流の場がほしい コミュニケーションの場が少ない 子どもたちが少なく話すチャンスが無い 人の痛みがわからない子どもになってしまわないか。 政治への関心 川辺地区に高齢者施設が無いが学校・保育園施設の併用は 	<ul style="list-style-type: none"> 親しみやすい地域のコミュニケーションを考える 地域の結びつきを深める 学校開放による世代間交流 老人クラブ、PTAとの世代間交流を増やす。 挨拶の励行と地区イベントへの積極的参加。 父母が楽しめ、地域の人の理解が深まる親子で参加できるイベントの開催 子どもを中心とした行事(スポーツレクリエーションなど)を市としてチャレンジをする。 地域ごとに保護者同士が相談できるネットワークを作る 3世代同居に対する支援 NPOをつくる 中学・高校生の議会見学 	<ul style="list-style-type: none"> 地域で子育てできる環境づくりができれば、地域で高齢者世代、子育て世代、幼児・学童世代がつながりを深め、地域の教育力や福祉力につながり、心豊かな環境が整い、今後の日本のモデルケースになるのではないかと考えます。 身近な地域で協力し、解決していく共助の精神が求められています。
情報メディアについて	—	<ul style="list-style-type: none"> 携帯・スマホを小中学生が21時以降使用できないようにして欲しい 親のスマホを学ぶ機会が少ない ネットトラブルがある 	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会が指針を出してもらい研修会を持つ 親子で学べる授業やグループ討議ができる機会を持つ 条例を作る(時間制限) 	<ul style="list-style-type: none"> 行政は、平成28年度に教育委員会と市P連が協力し、子どもと保護者を対象に市内統一アンケートを実施し、子ども、保護者、関係団体等と協議しています。議会としても大きな課題と捉え研究していきます。
子育て世代等を雇用する企業への支援	—	<ul style="list-style-type: none"> 女性の子育て期間中の身分保障の確立 学校の行事が多すぎて職場に迷惑がかりすぎている 子育てと仕事の両立が図れる仕組みづくり パート先で子育て世代を優先に休暇の取れる体制づくり 子育て世代が働きやすい職場環境を 障がい者の仕事先の増加 中高中退者への就職支援 	<ul style="list-style-type: none"> 企業に補助金を出し、育児休暇中の賃金を保障する。 企業に対して行政が子育て世代への支援策 子育て世代の賃金を上げてもらいたい 安心して働ける環境をつくる。 民間レベルの支援を 行政が出産後の再雇用など企業への働きかけを強める。 在宅で出来る仕事の斡旋(インターネット普及) 子育て支援をする企業に対する減税 中小企業の取り組みの改善 	<ul style="list-style-type: none"> 行政は、企業が子育て中の方を雇用できるよう企業助成を検討しています。議会も行政と一緒に研究していきます。
企業誘致	—	<ul style="list-style-type: none"> 企業が少ない 若者の働く場が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 企業誘致と新規企業への優遇策 多様な職種施設の整備、遊休地活用 若者の雇用を優先する 	<ul style="list-style-type: none"> 行政は、小諸市総合戦略に基づき、進学等による転出者が小諸に戻ってこられるように企業誘致を進めています。議会でも雇用増進に向け、研究検討していきます。

項目	小項目	課題	解決策	今後の対応及び議会回答
経済的支援	教育費	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世帯の5%が貧困世帯 ・家計的に教育費が苦しい ・小諸市の教育費予算は佐久市の半分以下 ・大学へは大金が必要となる ・出産・子育て・教育費用が世帯に重くのしかかっている ・子ども用品の交換場所がない(使わなくなったもの) 	<ul style="list-style-type: none"> ・貧困をなくす対策の充実 ・市の予算配分比率を子育て・教育重視にする。 ・子育て用具・衣類などリサイクルの場の拡充 ・児童手当のアップ、子育て減税の新設 ・奨学金制度の創設 ・県会・国会議員に要望 ・小中の給食費・教科書の無償化 ・教育費の無料化を高校までとする ・お金については議員立法で。 	
	給食費、保育料等	<ul style="list-style-type: none"> ・給食費の無料化 ・保育料の軽減・無料化 ・保育料無料化に ・児童館の延長料金をなくす ・学童クラブの月額を安くしてほしい ・入学祝い金を支給してほしい(多数) 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育料の無料化の実施 ・祝い金の現金支給 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育料軽減については、現行の第2子の20%軽減、県の補助事業による6,000円の補助は継続する予定とのこと。 ・保育料無料化については、平成26年度決算で保育料は1億4300万円となっており、これを全額公費負担とするためには、財源確保のために、他の事業の縮小や廃止も検討する必要があります。議会としても様々な検討を重ねてまいります。
	住宅補助	<ul style="list-style-type: none"> ・新築住宅補助が少ない ・若者が市外から転入して来て新築した場合、補助金の助成を ・空き家が若者世代に活用されていない ・雇用促進住宅の活用を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・新築住宅補助を ・転入して来て新築した場合、補助金の助成を ・空き家を若者世代に安く提供すれば空き家が減るか ・空き家を借りやすくする 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の住宅取得に対する助成要件を緩和し、移住者だけでなく、市内在住者であっても助成する方向で検討しています。
医療	—	<ul style="list-style-type: none"> ・医療費の窓口支払いが負担となる(多数) ・高校まで無償化を ・子どもの医療費の軽減18歳まで ・子どもの医療費がかかる 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療費の窓口無料化とする(15歳を18歳までに) 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援策のひとつとして「窓口無料化」は有力と考えますが、実施に伴う交付金減額のペナルティ等がありますので、国に医療費助成制度の統一創設やペナルティをなくすことについて意見書を提出しました。
	—	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関の充実、小児科・産科の充実されていない ・小児科の夜間、休日の病院対応が不安 	<ul style="list-style-type: none"> ・小児科・産科医の確保。 ・小児専門の医療センターをつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・小諸市内の開業医(医師会・小諸支部)と要望について意見交換の可能性を考えていきます。
	厚生病院	<ul style="list-style-type: none"> ・土日の総合医療に医師がほしい ・厚生病院に発達障害児を診てもらえる医師がいない ・病院内に病児・病後児保育を開設してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生病院のサービス向上 ・病院と協力して取り組む ・医師確保と財政支援を保つ ・厚生病院の医師への国県から給料の補助を 	<ul style="list-style-type: none"> ・30億円支援の中で、病院に求める市民サービスについて意見交換を重ね、実現への要望をしていきます。 ・医師確保について、行政として協力体制を築くべきと提言していきます。
	—	<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種など保健の医療への補助を ・任意接種(インフルエンザ等)の予防接種に対する補助。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校での接種を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・任意の接種に対する無料化は、公正性の観点から難しいが、補助金については実現に向けて検討していきます。
買い物	—	<ul style="list-style-type: none"> ・多子世帯子育てクーポンやパスポートで使える店がほとんどない ・お店が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・大型店の出店許可を出す 	<ul style="list-style-type: none"> ・県の事業で小諸市内は12店舗が登録されています。店舗の協賛でのサービスであるため、市から強要できないことをご承知おきください。
予算配分	—	<ul style="list-style-type: none"> ・コンパクトシティ事業が終われば、予算を他地区に配分できるのか ・区要望事業について、人口配分を考えてほしい 		<ul style="list-style-type: none"> ・予算が限られていることから、地域からの修繕等要望内容について精査し、市内全体の優先順位の高い必要なことから対応しています。
意見交換会について	—	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代に意見を聞くべきだ ・子育て対象者の年齢を明らかにして議論が必要 ・実際子育てをされている人たちの参加を増やせたらどうか 		<ul style="list-style-type: none"> ・開催時間や場所等について見直しを行い、参加しやすい意見交換会にしていきます。
アンケートについて	—	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てアンケートの課題からニーズを分析していない ・保育園からアンケートをとっているが幼稚園・低学年からも必要ではないか 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てアンケートの結果をとりまとめ、対策を早急に打つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てアンケートの結果をとりまとめ、対策を早急に打ちたいと考えています。
空き家	—	<ul style="list-style-type: none"> ・森山区の空き家対策 ・倒壊の危険がある物件は所有者との話し合いが早急に必要 ・特定空き家が1戸ある 	<ul style="list-style-type: none"> ・早急な取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家対策回答のとおりです。
区長の立場	—	<ul style="list-style-type: none"> ・区民からインフラ整備など多くの要望がある中で区長は地域と行政の板挟みになっている。 ・議員には状況を理解して対応してほしい。 		
ごみ出し	—	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人のごみの出し方 	<ul style="list-style-type: none"> ・受け入れ事業者又は家主が指導する 	<ul style="list-style-type: none"> ・受け入れ事業者又は家主から指導してもらうよう依頼します。
上水道	—	<ul style="list-style-type: none"> ・森山区の消火栓の現状 ・使用すると濁る状態なので通常に使えるように改良してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・対策を講ずる(水道管の敷設替え等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・対策を講じるよう担当課に伝えます。
その他	—	<ul style="list-style-type: none"> ・こもろプラザの軽食販売希望 ・除雪回数を増やしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンビニ設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館併設のカフェをご利用いただければと思います。 ・除雪は、深夜から早朝の労務であり、建設業者の協力により対応できています。行政間の協力体制を構築し、効率良い除雪を心掛けていますが、市民の皆様のご協力もお願いいたします。
中心市街地	—	<ul style="list-style-type: none"> ・相生町周辺のみが開発されているが周辺への開発計画は。 ・相生町周辺に人を集める施策はあるんですか。その施策は適切なのか。 ・子どもが集まる魅力ある商店街づくり ・相生町や本町の方にお金をかけているが、中心市街地だけが小諸市ではない。議員には小諸市全体の事を考えて提言してほしい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地の活性化の回答のとおりです。
議会と語る会について	—	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと子育てをされている人たちの参加を増やせないか。 ・「議員と語る会」の後の報告がない。市民が議員に不信感を持つ原因ではないか。 ・飲み物がほしい 		<ul style="list-style-type: none"> 開催時間や場所等について見直しを行い、参加しやすい会にしていきます。開催後の報告については、今回から議会だより臨時号を作成し、各戸配布とさせていただきます。